

かぜの海

医療法人社団
社会福祉法人

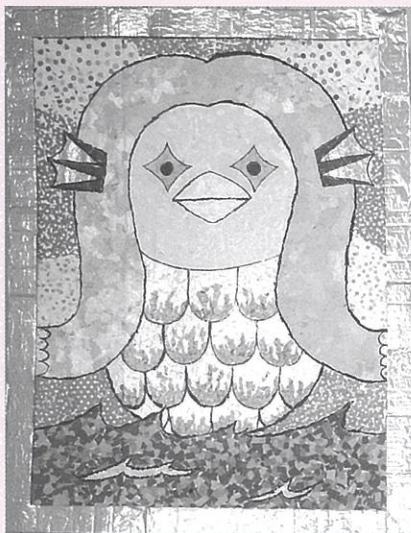
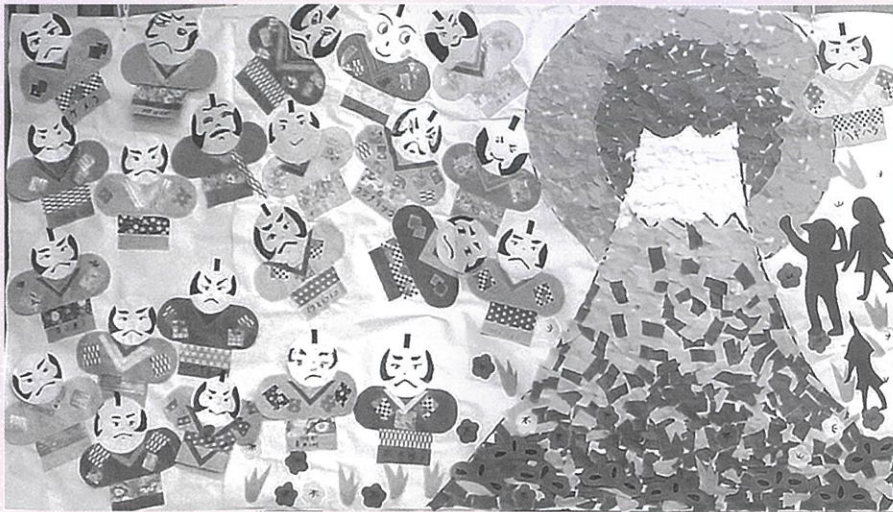
松涛会広報誌

No.65 春号
令和3年

松涛会理念

医療・介護・福祉の連携により、
地域社会に貢献いたします。

～あなたの喜びが、私の生きがいです～



山口銀行支店と郵便局に展示作品

今年も大作
勢ぞろい！

目次

新型コロナウイルス感染に対する
院内感染対策チームの活動について

松涛会下のリンクス

- ・ 新型コロナウイルス感染症と
向き合った一年を振り返って
- ・ 山の田中学校職業講話
- ・ コロナ禍でのワンプレートランチ
- ・ 療法士の酸素ボンベ取り扱い
- ・ これからの高齢化社会に活かせる資格
- ・ 栄養科ベトナムからの技能実習生
- ・ 介護助手説明会

毎年恒例の松涛会作品展示が、山口銀行安岡支店で一月二十五日から開催されました。二週間の展示期間の後は、下関東郵便局での展示、その後、山口銀行彦島支店での展示へと続きました。利用者・入居者と職員との共同作品はご来店のお客様を楽しませてくれたことと思います。

松谷 法史

新型コロナウイルス感染に対する院内感染対策チームの活動について

安岡病院 副院長・感染管理認定医師 堤 宣翁

新型コロナウイルスの感染者が中国・武漢市で初めて確認されてから、一年が経ちました。安岡病院では、院内感染対策チーム（ICT）を立ち上げ、感染管理認定医師（ICD）三名、感染管理認定看護師（ICN）と薬剤師、検査技師各一名を含む多職種メンバーで、毎週月曜日にラウンドし、感染に関するアドバイスや対策を行っています。新型コロナウイルスが拡大し、国内や福岡県（北九州市）などで新規感染者が増加した際には、院内の面会制限や職員の行動規範（市外・県外への移動制限など）を作り、コロナ感染を防ぐための対策を行ってきました。皆様の協力の結果、安岡病院では新型コロナウイルス感染者は一人も出さず、現在まで院内の発生を食い止めています。全国的に高齢者施設・療養型病院などでクラスターが発生（五名以上の患者発生）すると、あつという間に院内に拡がり、収束するまでに膨大な時間と対策が必要となり、患者さん・利用者さんに多大な被害を出すこととなります。院内感染を発生させないことを最大の目標として、ICT活動を行っています。

今年一月には、病院駐車場内に発熱外来の診察室を設置し、完全防護で新型コロナウイルス関連の検査（PCR・抗原迅速キットなど）を行うことができようになり、発熱症状の患者さんが一般外来の受診者と接触しないように、動線を分けて診察ができるようになりました。（写真参照）

まもなく医療従事者・高齢者から優先的にワクチン接種が開始されます。当院でも下関市の連携協力施設としてワクチンの供給を受けて、ワクチン接種を開始する予定です。新型コロナウイルスの収束を願って、今一度気持ちを引き締めて、感染者を出さないように活動を続けていきます。



新型コロナウイルス感染症と向き合った一年を振り返って

安岡病院 副院長・看護部長 古本 たつ子

昨年は、新型コロナウイルス感染症の対応に苦慮した一年でしたが、ワクチン接種も徐々に始まり希望の光が見えて参りました。また昨年は「ナイチンゲール生誕二〇〇周年」に当たり、看護職への関心を深めて頂く機会でしたが、連日新型コロナウイルス患者に携わる看護師の姿が報道され、言葉以上に多くの事が伝わったのではないかと思います。

安岡病院ではコロナウイルス感染症に関して、本年一月、宇部のクラスター発生施設へ看護師を派遣いたしました。同じ医療職であっても想像を超える厳しい現場を目の当たりにし、「日々増える陽性患者の数を聞きながら、目に見えない感染症の脅威を肌で感じた。」と言います。

まだまだ気持ちを緩めるわけにはいきません。職員一人一人が職場や患者さんを守るために必要な行動とは何かを考え、自覚して行動することが求められています。希望ある未来に繋ぐのも、私たちの行動にかかっています。頑張りましょう。



日本の医療を救え

#NursingNow_いま私にできること
看護職へエールを!

Nursing now



山の田中学校職業講話

特養フロイデ金比羅副主任 山本 大貴

「私の仕事は高齢者をハッピーにする仕事です」との開口一番の言葉に生徒は真剣な眼差し。

二月一日、山の田中学校一年生百四十五名を対象に将来の進路選択の一環として、福祉の魅力だけでなく身近な人との関わりを大事にすることが、

今出来る最大の学びだということをお話ししました。聞き入る生徒さんに私自身も熱い思いを大事に模範ある介護人として、多くの方をハッピーにしていきたいと思えました。



コロナ禍でのワンプレートランチ

ケアハウスオリーブ生活相談員 林 恵子

二月十二日の昼食にオリーブの年中行事の一つ、ワンプレートランチを入居者の皆様に楽しんでいただきました。例年ならばバイキング形式で、召し上がりたい料理をご自分でプレートに乗せていただいているのですが、昨年からは密になることを避けるためにこのような形式となっています。いつもと少し違う形や雰囲気でも、いつもと違うお料理やデザートを、いつもよりはゆっくりと味わって、皆様に和やかな時間を過ごしていただきました。



療法士の酸素ボンベ取り扱い

リハビリテーション科 科長 田中 美典

酸素納入業者の講師による酸素ボンベの基礎知識・圧力調整器の使用についての講義受講、ペーパーテスト合格(満点)・実技(圧力調整器・中央配管の取り扱い)試験に合格した四十一名の療法士が四月一日より院内での酸素の取り扱いを始めます。今後も継続して取り組み、患者さんへのスムーズなりハビリテーションの提供に努めます。



これからの高齢化社会に生きる資格

65歳以上が8万人を超える下関市内では、介護の知識・技術を有する方の活躍が期待されています。医療・介護現場で経験豊富な講師陣がお待ちしています。お問い合わせは安岡病院総務係まで。

介護福祉士実務者研修(第5期 通信課程)

- [募集期間] 令和3年4月1日~15日
- [実施期間] 令和3年4月23日~10月22日
スクーリング予定9日間(説明会含む)
- [スクーリング] はまゆう苑 地域交流ホーム
- [募集定員] 20名(先着順)
- [受講料] 120,000円前後(税込) その他・資格なしの場合
※受講料は保有資格により変動
- [テキスト代] 12,800円前後(税込)

栄養科 ベトナムからの技能実習生

栄養科 科長 磯谷 美由紀

令和三年一月二十五日、松涛会初の外国人技能実習生の受け入れとして、ベトナム人技能実習生三名が、安岡病院栄養課に配属されました。

外国人技能実習制度は、開発途上国等の経済発展を図るため、海外から技能実習生を受け入れ、日本で学んだ技能、技術又は知識を習得し、母国で活かす技能移転を図り、経済発展を担う「人づくり」に寄与することを目的とした国際協力のための制度です。

実習生はとても明るく快活で、労働意欲があり、積極的に業務に取り組んでいます。日本語の理解は十分ではありませんが、教えたり伝えたりすることで、職員同士のコミュニケーションがよくなり職場に活気をもたらしてくれています。

実習生のサポートも行いながら、栄養課一同で取り組んでいきたいと思っています。



介護助手説明会

特養はまゆう苑 事務係長 若松 栄一郎

二月十六日、はまゆう苑地域交流ホールにて「介護助手説明会」が開催されました。「介護助手」とは、施設や病院等で、掃除や食事の片づけ、シーツ交換、利用者の話し相手等、介護の補助業務を行っていたり、方々の事を言います。この説明会は山口県福祉人材センターが主催したもので、市内在住の五〇代から七〇代の男女七名の参加があり、松涛会での介護助手の業務内容や雇用状況について説明を行いました。地域の元気な方たちが介護助手として活躍することで、施設内が活性化しますし、何より、介護職員が入居者や利用者の介護業務に専念でき、負担軽減にもつながります。今回の参加者のうち三名の方に勤めていただく事になりました。



看護師・介護士・調理スタッフ募集

(介護士・調理スタッフは資格のない方もOKです。)

子どもさんを預けて仕事をしたい方
扶養の範囲内で仕事をしたい方

お気軽にご相談下さい。

- 医療法人社団松涛会安岡病院 担当 / 人事係
 - 社会福祉法人松涛会はまゆう苑 担当 / 法人事務局
- ☎083-258-3711
☎083-258-3800

問い合わせ先

